

「いよいよ始まった社会構造改革への議論」

この秋の人事で党の政
調会長補佐に任命されて
から、働き方改革推進特命
委員会の事務局次長を始
め、2020年以降の財政
再建小委員会委員や中小
企業・小規模事業者政策
調査会の小委員会を事務
局長として立ち上げる等、
労政局次長、国際局次長、
一億総活躍推進本部事務
局長、新聞出版局次長
等を含めて、10を超える職
務を与えられ、多忙な一年
が幕を開けました。政権内
政の最大の課題に中核的
に関与することとなって、
仕事の意味の大きさと、責
任の重さに身が引き締ま
る思いです。これから行わ
れる議論は、現代日本の最
も大きな社会構造の転換
に向けた議論です。拙著
「政治主導で挑む労働の構
造改革」で書いた提言を、
まさに形にしてゆくチャン
スが到来したのだと身震い
する思いです。

改めて政治とは一人では
何も出来ない、チームプ
レーなのだと感じていま
す。女性活躍推進、子育て
支援、財政再建、税と社会
保障の一体改革など、様々
な分野で活躍してきた我
が党の国会議員方が集結
して、これまで変えられな
いと思われてきた改革を
本気で実現する為に、重厚
な体制で事に臨もうとし
ています。この2年で官僚
の言うことも随分変わって
きました。彼らも、分かって
はいても変えられない、と
思っていた事が、政権与党
の本気の体制を見て、変え
られるかもしれない、本気
で議論してもいいかも知れ
ないと、厚いベールを脱ぎ
始めている様にも感じま
す。彼らがテコでも譲らな
かったスタンスが変わって
きているのを感じて、驚き
と喜びと感動を感じると
共に、だからこそこの改革
は絶対に失敗してはなら
ないのだという圧倒的な重
圧を感じずにはいられま
せん。

この国は、少子高齢化と
人口減少による社会保障
費の激増で潰れかけていま
す。国が潰れるとは、国債
と通貨が紙屑になるとい
うことです。それはバブル
崩壊以上の威力で、私達の
財産を消滅させ、制度と生
活をズタズタに破壊しま
す。私達はまた、焼け野原
から再起を目指さなくて
はならなくなり、国
際的な信用も地位も失っ
てしまいます。なんとか国
を潰さずに、苦しくとも、
過去の十字架を背負いな
がら、新しい時代に対応し
た社会へ脱皮しなくてはな
りません。その為には、そ
れ相応の痛みを伴わずに
脱皮する事は不可能です。
それでも国が潰れる痛み
に比べれば随分軽いもので

働き方改革に於いて、私
がやっていきたいことは、
①週と1日当たりの総労
働時間規制による長時間
労働の解消、②非正規雇
用と正規雇用の賃金体系
の接続による賃金格差の
是正、③職種別最低賃金
制度による不人気職種の
人材確保、④全ての働く人
への被用者保険の適用に
よる低所得者の負担軽減
と生活保護転落回避、⑤
共働きと片働きの税制と
社会保障制度上の不公平
の是正、⑥留学を通じた若
年外国人労働力の拡大、
⑦教育機関の産業人材供

共、だからこそこの改革

Facebookでも活動報告を行っています。(Facebookアドレス) <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください! お待ちしています。

あ な み よ う い ち

衆議院議員

穴見陽一

後援会
事務所



〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010

<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net

給責任の明示による若年人材供給と転職への学び直しの充実、⑧人材派遣業を活用してトライアル雇用等を通じたスムーズな転職支援による人材ミスマッチの解消、⑨請負契約や下請け先等の雇用の外にある契約先の賃金水準や労働時間規制の確保責任を発注元に負わす事による契約弱者の就労環境の確保、です。今回の議論でどこまで出来るかわかりませんが、出来るだけ経済社会に混乱をきたさぬよう充分に配慮した上で、その端緒でも是非実現したいと思っています。

経営者にとって、とりわけ外食企業にとって、これまででない厳しい労務管理を迫られる改革も含まれています。外食企業経営者の私にとって、自らの首を絞めるような改革を提言してきました。しかし、世の中は全て繋がっています。何処かの都合で歪められ

たことは、別のところで悪しき影響を生み出します。世の中全体の流れをうまくいかせる為には、その歪みを正さなければ直りません。その歪みの一つが私の業界でもあったのです。それは仕方ありません。正さねばならないのです。私が、拙著「政治主導で挑む労働の構造改革」を書いた時も上梓した時も、どんなお叱りをご同業からいただくだろうかと正直怖かったです。今でも怖いですが、この改革は日本人の為にどうしてもやらねばならない改革だという事実が変えられない以上、この身がどうなるかもやらねばならぬとの思いで出版しました。今はそれを本場に形にする時がやってきました。

経営者の皆さんに申し上げます。これからの改革で世の中は変化します。経営環境も変わります。変化に対応

する難しさ、苦しさはお察しします。私自身も何度も味わってきました。しかし、全ての会社に皆同じ新しい条件が与えられるのです。特定の業界や会社に対してのみ与えられる厳しさではありません。そもそも我々経営者は、既に様々な条件を与えられ、その同じ土俵の上で凌ぎを削っています。皆同じ条件です。皆同じ土俵です。新しい土俵でまたしっかりと相撲をとっていかうではありませんか。私もその一人です。これからの改革は、私自身が自分で背負う事にもなる改革ですから、当然その実感を込めて、皆さんへのシヨックが出来るだけ大きくならないように進めて参ります。責任を持って進めて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

Facebookでも活動報告を行っています。(Facebookアドレス) <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください! お待ちしています。

あ な み よ う い ち

衆議院議員

穴見陽一

後援会
事務所

〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010

<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net